

## 第14回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要綱

はじめに

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会（以下、「同友会」という。）の会員が所属する企業および団体（以下、「企業」という。）と神奈川県内の大学が中心となって行う、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。

本プログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマにあげ、それに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的に取り組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。

また、企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち、意思疎通を図ることにより、就職等でのお互いのミスマッチをなくし、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得ることとなり、企業にとっても学生のアイデアを事業のヒントとして活かせる好機ともなります。

### I. 趣 旨

本プログラムは、企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、神奈川県内に拠点を置く大学が中心となって、各テーマにチャレンジする学生を募り、提出された研究成果に対して企業が審査を行い、優秀なレポートについては企業、大学、学生等の関係者による表彰式において、その努力、才能を評するものです。

次の点が特徴として挙げられます。

1. 企業、大学、学生による産学連携の形で実施され、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムです。
2. 多岐にわたるテーマは、社会・人文科学系あるいは技術系を問わず、学生にとり、広く研究が可能であり、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされます。
3. 企業にとっては知名度のアップや学生の斬新なアイデアの取込み、優秀な人材の発掘、大学にとっては学内の活性化と企業が目指す方向性の認識等の波及効果が期待できます。

## II. 経緯

同友会の教育文化委員会では、平成14年5月、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップやミスマッチの解消のための諸施策を企業、大学へ提言しました。

平成15年1月末、県内5大学、すなわち横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、神奈川大学、東海大学との間で産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」を発足させ、その連携の一つの試みとして、学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的に、平成16年に「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」をスタートさせました。その後、この事業は更に発展、充実し、大きな広がりを見せております。

平成28年に実施した第13回神奈川産学チャレンジプログラムでは、34の企業から38の研究テーマの提示があり、これに対して20大学、211チーム、817人の学生からその研究成果がレポートとして提出されました。そのレポートに対する厳正な審査の結果、優秀なレポートを提出した63チームに対し、最優秀賞19、優秀賞44が決定され、企業、大学、学生等の関係者約430人参加による表彰式において、表彰状と褒章金が贈呈され、その栄誉を称えました。

## III. 実施概要

1. 参加企業の募集とテーマ抽出 → 募集は2月8日頃、締切は3月8日頃を予定  
同友会は、会員に対して参加の募集を行い、会員企業は応募とともに、経営課題からテーマを抽出します。
2. 参加大学の募集 → 募集は2月8日頃、締切は3月15日頃を予定  
同友会は、神奈川県内に拠点を置く大学を中心として、参加の募集を行います。
3. 参加企業および参加大学への説明会 → 3月21日～31日の間で実施予定  
同友会は、参加企業および参加大学に対して、本プログラムの説明会を開催します。
4. 学生チームの募集 → 募集は4月3日頃、締切は5月12日頃を予定  
参加大学は、各テーマ毎に、学生チーム（以下、「チーム」という。）に対して、参加の募集を行い、参加チームの申込書を同友会へ提出します。

5. 研究テーマの決定 → 6月15日頃までには決定  
同友会は、各参加チームに対して、研究テーマを割り当て、その結果を参加企業および参加大学に報告します。
6. チームへの説明会 → 6月中を目途に実施予定  
参加企業は、チームに対して、テーマに関する説明会を開催します。
7. テーマの研究とレポート提出 → 研究期間は説明会終了後～9月末  
提出期限は10月5日頃を予定  
チームは、テーマを研究し、その研究成果を「研究レポート」として、所属大学に提出します。参加大学は、参加チームすべての「研究レポート」をとりまとめて、同友会へ提出します。同友会は、参加大学すべての「研究レポート」をとりまとめて、参加企業へ提出します。
8. 参加企業の審査 → 審査期間はレポート提出後～11月17日頃を予定  
参加企業は、提出された「研究レポート」の審査を行います。
9. 審査結果の発表 → 結果発表は11月24日頃を予定  
参加企業は、全体の審査結果を同友会に通知します。同友会は、該当チームの審査結果を参加大学に通知します。参加大学は、審査結果を各チームに通知します。
10. 表彰式 → 12月19日  
同友会は、表彰式を開催します。表彰式には、最優秀賞および優秀賞を受賞したチームを招待し、参加企業より賞状・賞金が授与されます。また、最優秀賞の中から数チームが、プレゼンテーションを行います。